

**●中聖牛 1 基目蛇籠栗石詰め完成 2 基目も栗石詰め込み始め 2 基目もほぼ完成**

昨日（23 日）から中聖牛の石詰め作業が始まりました。朝から里山の会の理事の面々が顔を揃えて石を運び込みました。朝の気温は氷点下 2 度で 10 時には 4 度で 13 時頃には雪がちらつき風速は 4m とのことでした。日本列島北部は昨日の低気圧が発達して西高東低の気圧配置で厳しい冬型でした。午前中に 4 基のうち 1 基目がほぼ出来上がりました。午後からはお母さんたち 5 人子供たち 8 人の応援が加わりました。竹門先生や播川さん、福井さん、吉村さんに加えて有田さん、森島さん、太田さん、金田さん達が奮闘されました。同志社大学生も一人東大阪から駆けつけてくださいました。ドラム缶で流木を燃やして暖を取りながらの作業でした。午前中は太陽も顔を出してくれましたが、午後は雪がちらつき、厳しい寒さでした。それでも皆さん元気に張り切って頑張ってくださいまして 2 基目もほぼ出来上がりました。

**●里山農園で「子イノシシ」5 匹も一度にかかる**

22 日は里山農園での作業日でした。8 名の方々が農園付近のイノシシ用の檻に 5 匹の子イノシシがかかっているのを見つけました。農園の周囲は防御柵が張りめぐらされていますので、柵の外の檻で捕獲されました。これまでに一度に 5 匹ものイノシシが捕獲されたことはなかったことで、かなり頭数が増えていることの証明になります。このようなことからここはイノシシの生育環境に適していると見て取れるのではないのでしょうか。里山農園でのイノシシ被害をおさえるためにさらにいっそう注意を注がなければならないということを学びました。

**●12 月に福井さんもイノシシに山道で出くわす**

木津川の右岸はサルやイノシシの被害は随分と増えていると聞いています。毎年ミカン農家の収穫ボランティアに出掛けていき農家の応援を行ってきましたが、昨年と一昨年はサルやイノシシによってミカンが取られてしまって収穫ボランティアが不必要という状態になっています。獣たちが山奥で食べ物を探すのをやめて人間が生産している甘くておいしい農産物の味を知って里に下りるようになってきました。普賢寺地域では筍の収穫が大きな被害を受けるようになっていきます。宇治田原町では中型以上の犬を使ったモンキードッグでサル被害に取り組んでいると新聞で報道されていました。

**●27 日竣工式 淀川河川事務所所長出席との連絡がありました**

昨年の 9 月から取り組みを始めてきた竹蛇籠の製作、そして 2 月には中聖牛の骨組み作り、最後の取り組みである栗石入れは 27 日に最終作業をして竣工式を迎えることになりました。

2021 年度の土砂流出研究調査の一環として木津川 20Km 砂州頭地点に中聖牛設置計画が決定され、8 月から具体的な取り組みを始め、9 月～10 月末に 36 本の竹蛇籠製作を延べ作業員 115 人で行い、1 月 29 日から中聖牛の組立をおこなってきました。2 月 26 日と 27 日はいよいよ最後の栗石（重し石）の投入の段取りになってきました。

つきましてこの取り組みは、京都大学防災研究所、国交省淀川河川事務所、京の川の恵みを活かす会、河川レンジャーなどの協力を得て 2015 年に魚の棲み処を作り出す方法として竹蛇籠の製作に取り組み、木津川の 15 km 地点両岸に 3 基ずつ合計 6 基、18 本の竹蛇籠を設置し、新たな溜まりが出現しました。その技術を生かして 2017 年度から 2020 年度の 4 年間で 15 km 地点に 4 群 12 基の中聖牛を設置いたしました。

2021年度は20Km地点(精華町)の砂州頭で1群4基の中聖牛を新たに設置して砂州に新しい掘削溝に流水を導入する試みに挑戦いたします。これまでの伝統河川工法による効果がどのように出てくるのか楽しみであります。2月26、27日の新中聖牛の完成竣工に期待が大きく膨らみます。27日当日のプログラムは9時30分に作業開始の挨拶10時から約1時間の石詰め作業の後11時から竣工式が始まります。続いて11時30分に昆布茶で乾杯した後、竹炭生産試行をご覧になってお土産に竹炭や木酢液を希望者にお渡しして散会となります。どなたでもご参加いただけますのでお出かけくださるようお願い申し上げます。場所は木津川の西側堤付近にあります精華町の水道施設の建物の東側(木津川原)です。目印にのぼりを立てています。

### ●山下さん竣工式で竹炭生産試行のお披露目実施 当日出席者に竹炭お土産に進呈

この竣工式の一つの引き立て役として竹炭の簡易な生産法の披露を行っていただきますので是非ご覧になっていただけたらと計画をお願いしました。施行で生産した竹炭を少々お土産にさし上げさせていただきますのでぜひお越しください。ご参加をお待ちしています。

### ●1年で最も寒さ厳しく感じられる時期 友人知人に体調不良者続出 気をつけて コロナ感染者多数発生中

立春も過ぎ、節分も過ぎ、春がもうそこに来ているのに季節はなかなか変わろうとしてくれないようで、雪まで舞うこの頃です。コロナの感染力が強い第6波が収まりそうにもないようです。少なくなってきた私の友人の一人が昨日まで元気に竹のサインペンの試作をしてくれ、これから本格的に軌道に乗せようとした矢先に高血圧で体調不良になったとの連絡が入りました。御身大切にしていきたいものですね。

